

# 平成27年10月三木市教育委員会（定例会）会議録

## ◇ 日 時

- 1 開 会 平成27年10月21日（水）午後2時00分
- 2 閉 会 平成27年10月21日（水）午後3時30分

## ◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

## ◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会議録の承認
- 4 協議事項  
協議事項1 1 三木市立福井コミュニティセンター条例及び条例施行規則の制定に係る概要について
- 5 報告事項
- 6 その他  
次回定例教育委員会の開催日時について
- 7 閉 会

## ◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	委 員 長	里 見 俊 實
	2番	委員長職務代行者	水 島 慶 子
	3番	委 員	井 口 徹
	5番	委員（教育長）	松 本 明 紀
事務局		教育企画部長	西 本 則 彦
		こども未来部長	永 尾 勝 彦
		教育政策課長	大 西 真 一
		教育環境整備課長	貞 松 保 夫
		文化スポーツ振興課長	堀 内 基 代
		図書館 長	伊 藤 真 紀
		学校教育課長	野 口 博 史
		教育センター所長	大 東 豊
		就学前教育・保育課長	岩 崎 国 彦

	子育て支援課長	井上典子
	市民協働課長	大江雅弘
	教育政策課主査	五百蔵一也
	教育政策課主事	八代醒典之
傍聴者	0人	

\*\*\*\*\*

## 1 開 会

委員長が、平成27年10月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

\*\*\*\*\*

## 2 会議録署名委員の指名

委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、井口委員と松本教育長を指名した。

\*\*\*\*\*

## 3 会議録の承認

委員長が、平成27年9月定例会（16日開催）の会議録について委員に諮ったところ、井口委員から一部表現について修正を求める発言があった。委員長がこのことについて委員に諮り、全員一致で承認された。また、平成27年9月臨時会（28日開催）の会議録について委員に諮ったところ、全員一致で承認された。

\*\*\*\*\*

## 4 協議事項

【協議事項11】三木市立福井コミュニティセンター条例及び条例施行規則の制定に係る概要について

○大江市民協働課長が次のように説明した。

建物の名称は三木市立福井コミュニティセンター、所在地は福井

3丁目9番1号、デイサービスセンター三木南の南側である。設置の目的は、地域コミュニティの活性化及び地域連帯感の醸成を図るとともに、住民の教養の向上、健康の増進及び災害時の住民の安全の確保を図ることである。施設には、体育館としての使用もできる大会議室、会議室、事務室、防災倉庫、用具倉庫、トイレを設置し、床面積は1,260㎡とする。平成28年3月に建物を完成し、平成28年7月1日オープンの予定である。開館時間は、日曜、祝日は午前8時30分から午後5時まで、平日は午前8時30分から午後10時までである。休館日は、火曜日と年末年始の12月28日から1月4日までとする。今後の予定として、条例については、教育委員会11月定例会で議決の上、12月市議会へ条例案を提出する。規則については、教育委員会平成28年6月定例会で議決いただきたいと考えている。

(井口委員) この施設は避難場所に設定されるのか。

(大江市民協働課長) 2次避難所となる。収容人数は250人である。

(井口委員) この施設の近くに避難所はあるのか。

(大江市民協働課長) 1次避難所としては各地区の集会場等があり、2次避難所としてはサンライフ三木がある。

(松本教育長) 付近の2次避難所については、美囊川を隔てて三木中学校、三樹小学校があるが、洪水のときに美囊川を渡らなければならず、左岸の2次避難所が課題となっていた。

(里見委員長) 使用料はいつ決定するのか。

(大江市民協働課長) 条例において決定する。

(里見委員長) 開館時間は、他の社会教育施設と同じか。

(大江市民協働課長) 三木コミュニティスポーツセンターと同じ開館時間を設定している。

## 5 報告事項

### ア 教育政策課報告事項

○大西教育政策課長が次のように報告した。

市長の権限に属する事務の補助執行に係る教育委員会会議での取扱状況について、基準第4条に基づき市長に報告する。主に幼保一体化の推進及び子育て支援に関して取り扱った事務について報告する。なお、今回の報告とは別に、補助執行事務全般について、上半期の実施状況を報告する予定であり、次回の定例会で報告予定である。

(井口委員) 報告の中に、三木市においては過去5年間待機児童は発生していないと記載されているが、希望の園へ行けないために入園を待っておられる保護者の方もおられる。

(岩崎就学前教育・保育課長) 第2希望まで記載して書類を提出していただくが、第1希望と第2希望のいずれにも適わない場合は待つと言われる方については、基本的には自己都合となり、国の示す待機児童には当たらないこととされている。

(里見委員長) 事務局と保護者の間で見解・解釈の相違がある。程度の問題はあるが、どこまで配慮するかは常につきまとうことである。保護者にできるだけの配慮をして進めてほしい。また、報告の根拠となる取扱基準について、教育委員会と市長部局の両者が了知しておくべきだとこれまでも言ってきたが、そういう認識に基づいて策定されたことに間違いはないか。

(大西教育政策課長) 市長部局と協議の場を持った上で、教育委員会が定めたものである。

### イ 文化スポーツ振興課報告事項

○堀内文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

三木市史編さんシンポジウムを、9月26日に中央公民館大ホールで開催した。来場者は150人であった。スナッグゴルフ講習会を、10月10日にホースランドパーク緑の広場で実施した。小学

生以下の子どもとその保護者15ペア30人が参加された。企画展三木の屋台資料展を、10月10日から18日の9日間開催した。入館者は347人であった。第31回みなぎの書道展を、10月10日から18日まで開催した。来場者は2,749人で、昨年の2,640人からやや増加した。映画上映会について、平成27年度は4回予定しており、第1回目を10月17日文化会館小ホールで行った。入場者は303人であった。市民合唱祭を、10月18日に文化開館大ホールで開催した。14団体が出演し、入場者は677人であった。昨年の589人から増加している。第5回三木市長杯ゴルフ大会を、10月19日に東広野ゴルフ倶楽部で開催した。参加者は132人であった。今後の予定として、三木市菊花展覧会を、10月26日から開催する。表彰式は、金物まつりの特設ステージにおいて行う。みっきいスナッグゴルフ大会を、10月31日にホースランドパーク緑の広場で開催する。第5回歴史ウォーク「三木合戦の初期に築かれた三木城の北側の付城跡をめぐるコース」を、11月15日に開催する。

#### ウ 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

2件の視察があった。1件目は登別市議会の行政視察で、6人の方が訪問された。2件目は姫路市立城内図書館からの視察で、床下空調設備の見学に来られた。三木の秋祭り展を、10月1日から18日まで中央図書館・プロムナードで開催し、市内秋祭りの写真展示と案内を行った。今後の予定として、作家・福田和代さんの講演会とビブリオバトルを、10月24日に中央図書館で開催する。図書館どもの会三木の主催である。蔵書点検に伴う臨時休館があり、中央図書館は10月29日から11月6日、青山図書館は11月11日から13日、吉川図書館は11月16日から18日、自由が丘公民館図書コーナーは11月9日である。なお、金物まつり期間中は通常開館する。よかぼんまつりを、11月28日に吉川図書館で開催する。雑誌ふろくの抽選会や図書・雑誌のリサイクル等を行う。同じく吉川図書館で、11月29日に歴史講演会を開催する。講師は、よかわ歴史サークルの藤田均氏である。

(井口委員) 視察について、具体的に教えてほしい。

(伊藤図書館長) 登別市からは、中央図書館建設の経緯と運営についてお尋ねがあった。建設の経緯の中で、プロポーザル決定の要因に関する質問があり、斜面を利用しての建設という点で、建設検討委員会の協議で最終決定した経緯を説明した。また、運営については、広域サービスの実施に関する質問があり、三木市においては、北播磨、東播磨管内の7市3町の方に貸出しを行っている旨お答えしている。登別市は図書館が築43年ということもあり、新しい図書館建設に向けて視察をされているということである。姫路市立城内図書館は、改装に伴い床下空調にする必要があるということである。建築住宅課の担当の者と説明をさせていただいた。

(井口委員) 全国的に注目されるのは非常にうれしいことである。図書館からの情報を伝える小冊子等の作成も検討してほしい。情報の発信はほとんどホームページでしていると思うが、ホームページを閲覧できない方もおられる。

## エ 学校教育課報告事項

○野口学校教育課長が次のように報告した。

第7回定例校園長会を、10月5日に開催した。市内小学校、幼稚園の運動会を、9月19日から各校園において行った。大きな事故もなく終えることができた。教育委員の皆様にもご臨席を賜り、ありがとうございました。6フレンドリーウォークを、10月6日に実施した。晴天に恵まれ、欠席も2人だけであった。今後の予定として、トライやる・ウィークを11月9日から実施する。三木市学力向上サポート事業発表会のご案内を机上に置かせていただいている。三木中学校、平田小学校、三樹小学校が取組2年目で、今年度が発表の年となっている。また、市内中学校及び歴史施設の視察についてのご案内もお配りしている。今年度は、初めて中学校に行っていたかどうかと考えている。11月25日に、星陽中学校で4時間目の授業を見学していただいた後、給食を試食していただく。午後から秀吉本陣跡、藤原惺窩生誕地、増田ふるさと公園を見学していただき、その後、中学校で懇談をお願いしたいと考えている。

#### オ 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

専門研修講座を5回実施した。特別支援教育テーマ別研修を、10月8日に実施した。テーマは、「読み」に困難さがある児童生徒への支援についてである。適応教室は、現在7名の通級がある。今後の予定として、いじめ・不登校フォーラムの専門研修講座を実施する。青少年センターについては、立番、白ポスト回収のほか、5校で人の目の垣根隊意見交換会を行った。また、大宮神社と岩壺神社で特別補導を行った。今後の予定として、10月27日に宝塚での兵庫県補導委員大会・研修会に参加する。

(里見委員長) 医師による発達教育相談は何時から何時までか。

(大東教育センター所長) 医師は14時から17時までおられる。事前に予約が必要である。

#### カ 就学前教育・保育課報告事項

○岩崎就学前教育・保育課長が次のように報告した。

公立保育所、幼稚園で運動会を実施した。第三者評価については、民間及び公立で順次実施している。第7回保育協会理事会を、10月1日に開催し、認定こども園の認可状況について、市内の11園は県から問題なしという内示をいただいている旨報告した。緑が丘認定こども園の運営事業者募集について、10月1日に各事業者に要項配布、10月9日に説明会、10月28日から30日まで受け付け、11月初旬に選定委員会を開催し、12月中旬には決定したいと考えている。別紙で、平成28年度の認定こども園・保育所・幼稚園の児童募集等の説明会について掲載している。延べ297人の参加があった。今後の予定として、引き続き第三者評価を実施する。また、第8回保育協会理事会を11月5日に開催するが、児童の申込状況が分かってくる時期であるため、各園の人員配置について相談を行っていきたいと考えている。三木市幼保連携型認定こども園教育・保育共通カリキュラムについて、50ページほどの資料をお配りしている。子ども・子育て会議を、昨年度10回、今年度11回開催する中で策定し、先日記者発表している。内容については、実際に運用していく中でブラッシュアップし、必要に応じて見

直しを行っていく。各園に配布し、読み込んでいただいた上で年間計画を作成していただき、1月末から2月にかけて全体の勉強会を行い、平成28年4月からの運用に向けて準備を進める。

(里見委員長) 緑が丘認定こども園の運営事業者募集について、選定委員会はどのような構成になるのか。

(岩崎就学前教育・保育課長) カリキュラム策定委員である大学教授、市内の施設監査に携わっていただいている元県職員及び部長級の市職員で構成する。

(里見委員長) 選定委員会が11月初旬で、公表が12月中旬とのことであるが、随分期間が空いているように思う。

(岩崎就学前教育・保育課長) 調整期間をしっかりと設けたいことと、内部決裁にもある程度時間を要する。また、同等の事業者が複数ある場合に、経験値等を比較する中で決定し、公表していきたいと考えている。

(水島委員長職務代行者) カリキュラムについて、このカリキュラムを運用する中で、本当に待機児童は発生しないのか。特に0歳児の保育者が不足しているという問題も聞いている。

(岩崎就学前教育・保育課長) 市内11園で290名ほど受入枠を増やし、各年齢の枠を広げていく。実情に合わせて今後保育者も確保していく。

(里見委員長) 新聞の記事では、「教育委員会は、…策定した。」と書かれていた。このカリキュラムの策定は補助執行事務であるが、対外的には委任なのか補助執行なのか分からない。「市長は」と書いてもらう必要は無いが、補助執行である点を明確にしてもらいたい。仮に責任問題が生じた場合に、最終責任を誰が負うのかという問題になる。その点について認識を持った上で進めてもらいたい。また、このカリキュラムは、「共通カリキュラム」と言いながら、何を指して共通なのか明示されていない。私は公立と

私立の間で共通だという認識だが、私立においてもこのカリキュラムにより教育・保育の質が担保される旨を明示すべきであると考える。

(水島委員長職務代行者) カリキュラムの中にお母さんのことが抜けているように思う。早く迎えに来られる方も遅くなる方もおられるが、子どもに寂しいという感情が残ってしまわないように、安心と幸せを感じるような保育をしてもらいたい。

(岩崎就学前教育・保育課長) カリキュラムの中で、短時間保育、長時間保育のそれぞれの子どもに対するアプローチについては謳っている。各園の状況や施設条件に応じて、実際にどう接していくか工夫が必要になる。

#### キ 子育て支援課報告事項

○井上子育て支援課長が次のように報告した。

児童センター及び吉川児童館で各種講座、イベントを実施した。地域で支え合う子育ての講座を2回実施した。参加者は、10月7日が28人、10月14日が25人であった。ファミリーDAYを、10月18日に行い、子ども3人、大人3人の参加があった。吉川児童館で10月17日に実施したパンづくりは、参加者12人であった。今後の予定として、児童センターは11月7日、8日の金物まつり期間中は臨時休館する。期間中混雑が予想され、一般の利用に支障が出るため、休館する次第である。11月1日から30日は、児童虐待防止推進月間となっている。11月29日に講演会を開催するので、振るってご参加いただきたい。啓発のティッシュ配布やポスターの掲示等も行う。

\*\*\*\*\*

## 6 その他

次回定例教育委員会の開催日時について

委員長が、次回の定例教育委員会の開催予定日時について諮り、平成27年11月18日(水)、午前9時30分から開催することを決定した。

\*\*\*\*\*

## 7 閉 会

委員長が、平成27年10月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。